

奨学金案内

東京電機大学ではおおよそ 3 人に 1 人の学生が奨学金を利用しています。

学生生活に必要な学費、教材費、住居費等に奨学金を

上手に活用することによって充実したキャンパスライフが実現できます。

また、家庭の経済的負担を軽減するとともに

学業に安心して取り組める環境を整えることができます。

東京電機大学では
3人に1人
が奨学金を利用

平成 28 年度 奨学生数 (参考)

	東京電機大学 独自奨学金	日本学生支援機構 奨学金	地方公共団体 民間奨学団体 奨学金	合 計
学 部	70 名	3,382 名	27 名	3,479 名
大学院	81 名	364 名	5 名	450 名

奨学金の申請をするにあたって

1. ご自身の経済状況よく確認しましょう。

奨学金の申請をする前に、月々または年間でどのくらいの奨学金が必要になるのかよく確認してから申請してください。

2. 奨学金の案内は DENDAI-UNIPA (学生ポータルサイト) または掲示板で行います。

また、学籍番号メールでも連絡を行う場合がありますので、必ず確認するようにしてください。

奨学金に関する連絡(募集や手続案内)は DENDAI-UNIPA (学生ポータルサイト) または掲示板で行います。募集から採用、奨学生終了時までこまめに確認し、重要な連絡事項を見落とさないように十分に注意してください。また、以下の学費納入時期にも留意してください。

■ 前期：4 月末 (情報環境学部は 5 月末、工学部第二部は 6 月 10 日)

■ 後期：10 月末 (工学部第二部は 11 月 10 日)

3. 奨学金の給付または貸与を受けるのは「学生本人」です。申請の準備は自分で行いましょう。

書類の準備、作成等の各種手続きは学生自身で行ってください。書類提出時には窓口で記載事項について確認する場合があります。経済状況を含めて学生本人がよく理解したうえで準備を進めてください。

4. 手続期限は必ず厳守してください。

各種手続きの日程を十分に確認し、書類に不備があった場合に備えてゆとりを持って書類の準備を行いましょう。期限を過ぎての手続きは一切できませんのでご注意ください。

5. 貸与型の奨学金には返還の義務があります。

国の資金で貸与される日本学生支援機構奨学金をはじめ、貸与型の奨学金は貸与終了後に返還義務があります。返還するのは卒業後の自分自身であることを認識し、借りすぎにならないよう慎重に検討してください。

各キャンパス 奨学金窓口

東京千住キャンパス 東京千住キャンパス事務部 (学生厚生担当) ▶ 2号館3階

埼玉鳩山キャンパス 理工学部事務部 (学生厚生担当) ▶ 本館1階

千葉ニュータウンキャンパス 情報環境学部事務部 (学生厚生担当) ▶ 教育棟1階

I 東京電機大学独自奨学金

(金額・採用数は平成 28 年度実績)

東京電機大学の独自奨学金には、『給付型』と『貸与型』があります。

『貸与型』の奨学金に採用された場合、原則卒業後 5 年間(無利子・繰り上げ返還可)で返還する義務があります。

大学院【給付型】

名称	支給額	対象者	募集時期	決定時期	選考・支給方法	採用実績
特別奨学金 【博士課程のみ】	438,290 円	<ul style="list-style-type: none"> ■大学院博士課程在籍者 ■人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者 ■在籍企業から学費援助を受けていない者、休学の予定がない者 	5～6月	7月下旬	【選考】 書類選考 【支給方法】 口座振込	32名 【内訳】 先端科学技術研究科：32名
大学院 進学特別 奨学金	850,000 円 未来科学研究科 建築学専攻 の学生のみ 1,060,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ■本学学部成績優秀者で、本学大学院修士課程に「学内推薦入試*」を経て入学した者(各学科より1名採用) 【成績基準】 学部3年次後期終了時、学科・学系での順位が上位50%以上の者 【家計基準】 (1) 給与所得者(源泉徴収支払額)841万円以下 (2) 上記以外(確定申告書等の所得金額)355万円以下 ※「学内推薦入試」の基準・時期については入試センターにお問合せください	給付前年度 10～11月	1月下旬	【選考】 書類選考 【支給方法】 半期ごとに学費に奨学金を振り替える	19名 【内訳】 工学部：6名 工学部第二部：1名 未来科学部：5名 理工学部：5名 情報環境学部：2名

大学院【貸与型】*卒業後5年間で返還(無利子・繰り上げ返還可)

名称	支給額	対象者	募集時期	決定時期	選考・支給方法	採用実績
貸与奨学金	該当学期(セメスター)の学費相当額	<ul style="list-style-type: none"> ■大学院博士課程・修士課程在学者(過去に休学、留年したものは除く) ■人物優秀で学業成績が優秀、かつ学費支弁が困難な者 	年2回 (4月・9月)	6月下旬 ・ 11月下旬	【選考】 書類選考 【支給方法】 口座振込	27名 【内訳】 工学研究科：18名 未来科学研究科：5名 情報環境学研究科：4名
学生救済奨学金	該当学期(セメスター)の学費相当額	<ul style="list-style-type: none"> ■大学院博士課程・修士課程在学者(卒業年次生優先) ■保証人の経済的な理由で、学費の支払いが困難な学生 ■貸与は在学期間中1回に限る 	年2回 (4月・9月)	6月下旬 ・ 11月下旬	【選考】 書類選考 【支給方法】 学費に奨学金を振り替える	2名 【内訳】 先端科学技術研究科：1名 工学研究科：1名
学生支援奨学金	30万円の範囲で査定	<ul style="list-style-type: none"> ■大学院博士課程・修士課程在学者(過去に休学、留年したものは除く) ■本学主催の海外英語研修への参加、および高額な教育装置購入など自己資質向上を目的とする学生 ■貸与は在学期間中1回に限る 	随時 (窓口にご相談ください)	随時	【選考】 書類選考 【支給方法】 口座振込	1名 【内訳】 工学研究科：1名
校友会奨学金	1回に納入する学費等の相当額	<ul style="list-style-type: none"> ■大学院博士課程・修士課程在学者(卒業年次生優先) ■家庭の経済的事急の急変(家計支持者の失職、死亡等)により、学業継続が困難な学生 ■貸与は在学期間中1回に限る 	年2回 (4月・9月) (学費に充当するため、学費納入期限以前の応募が望ましい)	6月下旬 ・ 11月下旬	【選考】 書類選考 【支給方法】 現金にて手渡し	昨年度は採用者なし

学部【給付型】						
名称	支給額	対象者	募集時期	決定時期	選考・支給方法	採用実績
特別奨学金	280,000円	<ul style="list-style-type: none"> 学部2～4年次生（過去に休学、留年したものは除く） 人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者 【成績基準】 目安として、成績順位が上位20%以上の者 【家計基準】 (1) 給与所得者（源泉徴収支払額）841万円以下 (2) 上記以外（確定申告書等の所得金額）355万円以下	5～6月	7月下旬	【選考】 書類選考 面接試験 （書類選考通過者のみ） 【支給方法】 口座振込	25名 【内訳】 工学部：8名 工学部第二部：2名 未来科学部：4名 理工学部：8名 情報環境学部：3名
学生応急奨学金	50万円の範囲内で決定	<ul style="list-style-type: none"> 学部在学者 人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者 1年以内に家計急変（家計支持者の失職、死亡等）があり、学費支弁が困難な者 	随時 （窓口にご相談ください）	随時	【選考】 書類選考 【支給方法】 口座振込	昨年度は採用者なし
学生サポート給付奨学金	250,000円	<ul style="list-style-type: none"> 学部在学者 1年以内に家計急変（家計支持者の失職、死亡等）があった者 学内外の給付型奨学金を受給していないこと 採用後、学生行事において、学生ボランティアスタッフとして協力することができる者 【成績基準】 直近の学期末までのGPAの成績が学科・学系で上位50%以上の者 【家計基準】 (1) 給与所得者（源泉徴収支払額）841万円以下 (2) 上記以外（確定申告書等の所得金額）355万円以下	年2回 （4月・7月）	7月下旬 11月下旬	【選考】 書類選考 面接試験 （書類選考通過者のみ） 【支給方法】 口座振込	5名 【内訳】 工学部第二部：1名 未来科学部：2名 理工学部：1名 情報環境学部：1名

学部【貸与型】 *卒業後5年間で返還（無利子・繰り上げ返還可）						
名称	支給額	対象者	募集時期	決定時期	選考・支給方法	採用実績
学生救済奨学金	該当学期（セメスター）の学費相当額	<ul style="list-style-type: none"> 学部在学者（卒業年次生優先） 保証人の経済的な理由で、学費の支払いが困難な学生 貸与は在学期間中1回に限る 	年2回 （4月・9月）	6月下旬 ・ 11月下旬	【選考】 書類選考 【支給方法】 学費に奨学金を振り替える	16名 【内訳】 工学部：7名 工学部第二部：2名 未来科学部：4名 理工学部：3名
学生支援奨学金	30万円の範囲で査定	<ul style="list-style-type: none"> 学部在学者（過去に休学、留年したものは除く） 本学主催の海外英語研修への参加、および高額な教育層内の購入など自己資質向上を目的とする学生 貸与は在学期間中1回に限る 	随時 （窓口にご相談ください）	随時	【選考】 書類選考 【支給方法】 口座振込	14名 【内訳】 工学部：3名 工学部第二部：1名 未来科学部：4名 理工学部：5名 情報環境学部：1名
校友会奨学金	1回に納入する学費等の相当額	<ul style="list-style-type: none"> 学部在学者（卒業年次生優先） 家庭の経済的事象の急変（家計支持者の失職、死亡等）により、学業継続が困難な学生 貸与は在学期間中1回に限る 	年2回 （4月・9月） （学費に充当するため、学費納入期限以前の応募が望ましい）	6月下旬 ・ 11月下旬	【選考】 書類選考 【支給方法】 現金にて手渡し	昨年度は採用者なし

入学前に申請できる奨学金【給付型】						
名称	支給額	対象者	募集時期	決定時期	選考・支給方法	採用実績
「エンジニアのたまご」奨学金 【出願時に申請が必要です】	250,000円 または 500,000円 （自宅外通学者は上記に10万円加算）	<ul style="list-style-type: none"> 本学工学部第二部以外の入学者 一般入試（前期）日程の得点率が70%以上の成績優秀な者 	前年度1月	5月	【選考】 書類選考 【支給方法】 口座振込	10名 【内訳】 工学部：4名 未来科学部：4名 理工学部：2名

II 日本学生支援機構奨学金

独立行政法人日本学生支援機構は、国の学生支援事業を総合的に実施する機関です。この奨学金は、日本学生支援機構から貸与される奨学金で、「第一種（無利子）」・「第二種（有利子）」の2種類があります。

奨学金の採用は人物・健康・学力・家計状況等に基づいて総合的に審査されます。基準を満たしている場合でも、日本学生支援機構の予算の都合でご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

大学院			
	第一種奨学金		第二種奨学金
利子	無利子		有利子（上限 年利3%） ※「利率固定方式」又は「利率見直し方式」を選択 ※2017年1月現在の貸与利率 利率固定方式：0.23% 利率見直し方式：0.01% ※「利率見直し方式」の利率は概ね5年ごとに見直し ※貸与終了時の利率が適用されます。
貸与月額	修士課程	50,000円、88,000円から選択	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択
	博士課程	80,000円、122,000円から選択	
学力基準	修士課程	成績が特に優れ、将来、研究能力または高度な専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができる者と認められる者	次のいずれかに該当する者。①成績が優れ将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができる者と認められる者。②学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者
	博士課程	成績が特に優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができる者と認められる者	次のいずれかに該当する者。①成績が特に優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができる者と認められる者。②学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者
家計基準 （※1）	修士課程	299万円	536万円
	博士課程	340万円	718万円
（※1）収入は、「本人及び配偶者（配偶者は定職収入がある場合のみ）」となります。 上記金額は平成29年度募集時の上限目安となります。			
貸与期間	修士課程2年（24ヶ月）、博士課程3年（36ヶ月）を限度とした、最短修業年限の終期まで。 ただし、奨学生としての適正を失った場合は、奨学金が停止または廃止されることがあります。		
保証制度	人的保証：連帯保証人と保証人を選任する制度。連帯保証人は原則として父又は母。保証人は父母を除く4親等内の成年親族のうち、本人及び連帯保証人とは別生計かつ採用時に原則65歳未満の者（おじ・おば・兄弟姉妹・いとこ等） 機関保証：連帯保証人及び保証人を選任せず、保証料を支払うことにより保証機関が連帯保証する制度。保証料は、毎月の奨学金貸与額から差し引かれます。		
募集時期	定期募集：毎年4月上旬（奨学金は原則年1回の募集となります） 追加募集：日本学生支援機構の予算に応じて募集（実施されない場合があります） 臨時募集：日本学生支援機構の予算に応じて募集（実施されない場合があります） 緊急採用：無利子。家計支持者の失職、死亡等により家計急変が起きた場合に適用 応急採用：有利子。家計支持者の失職、死亡等により家計急変が起きた場合に適用 ※緊急採用、応急採用をご希望の際は、事前に所属キャンパスの窓口にご相談ください。		
採用実績	修士課程	156名	31名
	博士課程	4名	1名
貸与開始月	2017年4月～		2017年4月～9月で希望する月
初回振込	7月上旬（奨学金は4月から遡って貸与されます）		

学部生			第一種奨学金	第二種奨学金
利子	無利子			有利子（上限 年利 3%） ※「利率固定方式」又は「利率見直し方式」を選択 ※ 2017 年 1 月現在の貸与利率 利率固定方式：0.23% 利率見直し方式：0.01% ※「利率見直し方式」の利率は概ね 5 年ごとに見直し ※貸与終了時の利率が適用されます
貸与月額	自宅通学	30,000 円、54,000 円から選択		30,000 円、50,000 円、80,000 円、100,000 円、120,000 円 から選択
	自宅外通学	30,000 円、64,000 円から選択		
学力基準	1 年次	高校の成績評定平均値が 3.5 以上		平均水準以上
	2～4 年次	成績上位 1/3 以内		
家計基準 （※ 1）	給与所得（※ 2）	800 万円		1,143 万円
	給与所得以外（※ 3）	392 万円		735 万円
	（※ 1）家計基準は、家族の状況により異なります。（上記金額は、平成 29 年度における 4 人家族・自宅通学の場合の上限目安です） 平成 29 年度入学者に限り、家計支持者（父母がいない場合は代わって家計を支えている人）が住民税非課税である方は、学力基準に関係なく第一種奨学生として採用される場合があります。 （※ 2）源泉徴収票の支払金額等で、給与所得控除前の収入金額 （※ 3）確定申告書等の売上（収入）金額から経費を差引いた税込営業利益等の所得金額			
貸与期間	4 年（48 ヶ月）を限度とした、最短修業年限の終期まで。 ただし、奨学生としての適正を失った場合は、奨学金が停止または廃止されることがあります。			
保証制度	人的保証：連帯保証人と保証人を選任する制度。連帯保証人は原則として父又は母。保証人は父母を除く 4 親等内の成年親族のうち、本人及び連帯保証人とは別生計かつ採用時に原則 65 歳未満の者。 （おじ・おば・兄弟姉妹・いとこ等） 機関保証：連帯保証人及び保証人を選任せず、保証料を支払うことにより保証機関が連帯保証する制度。保証料は、毎月の奨学金貸与額から差し引かれます。			
募集時期	予約採用：高校在籍時の手続により入学前に奨学生候補者として採用されるもの 定期募集：毎年 4 月上旬（奨学金は原則年 1 回の募集となります） 追加募集：日本学生支援機構の予算に応じて募集（実施されない場合があります） 臨時募集：日本学生支援機構の予算に応じて募集（実施されない場合があります） 緊急採用：無利子。家計支持者の失職、死亡等により家計急変が起きた場合に適用 応急採用：有利子。家計支持者の失職、死亡等により家計急変が起きた場合に適用 ※緊急採用、応急採用をご希望の際は、事前に所属キャンパスの窓口にご相談ください。			
採用実績	298 名		607 名	
貸与開始月	2017 年 4 月～		2017 年 4 月～9 月で希望する月	
初回振込	7 月上旬（奨学金は 4 月から遡って貸与されます）			

■返還について（学部生・大学院生共通の手続き）

日本学生支援機構奨学金の貸与が終了後、最終貸与月の翌月から起算して 7 ヶ月目より返還が開始されます。返還は口座引落としとなりますので、貸与終了時の案内にしたがい、リレー口座（奨学金返還口座）を登録してください。返還年数は貸与総額によって期間が設けられています（最長 20 年）。詳細については、貸与終了時に大学から郵送される「返還のてびき」を参照してください。

【返還例】

①第一種奨学金（貸与月額 54,000 円、貸与月数 48 ヶ月の返還例）

貸与総額 2,592,000 円・返還月額 14,400 円・返還回数 180 回（15 年）・返還総額 2,592,000 円

②第二種奨学金（貸与月額 80,000 円、貸与月数 48 ヶ月、利率 3%適用の返還例）

貸与総額 3,840,000 円・返還月額 21,531 円・返還回数 240 回（20 年）・返還総額 5,167,586 円（端数調整あり）

■奨学金継続について（学部生・大学院生共通の手続き）

日本学生支援機構奨学金は、原則として卒業または修了するまでの貸与となります。しかし、次年度以降も継続して貸与を受けるには、毎年 12 月～1 月に奨学金の継続手続を行う必要があります。継続手続を行わない場合、または学業成績により留年となった場合等は奨学金が「廃止」または「停止」の措置対象となりますのでご注意ください。なお、学部生から大学院生への継続手続はありません。学部生から引き続き大学院生での貸与を希望する場合は、大学院入学後、新たに奨学金を申し込む必要があります。

Ⅲ 民間団体・地方公共団体奨学金

民間団体および地方公共団体奨学金行う奨学金には①貸与型 ②給付型 ③一部貸与型などの種類があり、大学を通して申請をするものと、大学を通さず申請者が直接申請するものがあります。

大学を通して申請する奨学金については、DENDAI-UNIPA（学生ポータルサイト）でお知らせします。

また、それ以外のものについては、学内の奨学金掲示板に掲載されます。地方公共団体による奨学金は、大学を通さず募集される場合が多いため、出身の地方公共団体 HP などでご情報を得てください。以下は昨年度大学に募集のあった民間団体の給付型の奨学金を例示します。

【財団奨学金（給付型）抜粋版（大学を通じて応募するもの）】

以下は 2016 年度実績。2017 年度については必ず UNIPA・掲示板で確認する事

奨学金団体名	対象学年	支給金額	対象	申請時期	申請	推薦	採用
川本・森奨学財団	修士課程	25,000 円 / 月	■ 学業優秀、品行方正であり、経済的理由により、学費の支弁が困難であること	4 月	1	1	1
中村積善会	全研究科 全学部	30,000 円 / 月	■ 優秀な資質を有し、家庭的に不遇にして奨学金返却困難と認められる者	4 月	33	1	1
日揮・実吉奨学会	全研究科 全学部	300,000 円 / 年	■ 人物・学力ともに優れ、かつ健康であって、経済的に奨学金の給付が必要であると認められる者	4 月	62	13	13
長谷川財団	修士課程	360,000 円 / 年	■ 学業及び人物ともに優秀で、かつ学費の支弁が困難な者	5 月	3	1	1
オーディオ テクニカ奨学会	修士課程 学部 2 年以上	20,000 円 / 月	■ 東京都内に在学し、都内の大学又は、大学院で理工学を学ぶ者 ■ 健康でかつ学業の成績が優秀な者で経済的理由により、学費の支弁が困難である者	4 月	1	1	1
岡部亨和奨学財団	全研究科 学部 2 年以上	30,000 円 / 月	■ 建築・土木、機械・電気、金属材料系を専攻している者 ■ 成績の基準は GPA3.0 以上。世帯の年収基準は給与所得者は 600 万円未満、給与所得者以外は 340 万円未満を目安とする	前年度 3 月	9	9	5
松栄奨学基金	学部 2 年生	50,000 円 / 月	■ 電気・電子工学、経営・経営情報学、数学関係の分野を専攻している者 ■ 品行方正・志操堅固・健康で学業優秀な学生 ■ 年収基準は、給与所得者は 800 万円以下、給与所得者以外は 400 万以下	前年度 3 月	2016 年は 募集なし		
前澤育英財団	学部 1 年生	35,000 円 / 月	■ 父母または本人が東京都に在住している学生 ■ 経済的理由により就学が非常に困難な者	4 月	6	1	1
大森昌三記念財団	全研究科 学部 2 年以上	30,000 円 / 月	■ 学費の支弁が困難と認められる者 ■ 健康で、学業成績、人柄ともに優れている者	4 月	9	9	2
種とまと財団	学部 3 年生 学部 4 年生 (修士課程進学内定者)	院：80,000 円 / 月 学部：50,000 円 / 月	■ 学業優秀、健康、品行方正で、学士の支弁が困難と認められる者	前年度 9 月	1	1	0
信濃育英会	学部 2 年以上	個人：200,000 円 (1 回限り) 学生グループ (団体) 300,000 円～500,000 円 (1 回限り)	■ ボランティア等あらゆる分野の活動を通じて明るい社会を築くために貢献している個人または学生グループ (団体)	6 月	0	0	0
守谷育英会	全研究科 全学部	100,000 円 / 月	■ 東京都内の大学に在学または東京都内に居住している者 ■ 学業、人物とも優秀であって、学資の支弁が困難な者	4 月	14	14	0
ダイオーズ 記念財団	全研究科 学部 2 年以上	10,000 円 / 月	■ 将来の夢を実現させるために挑戦する意欲を持った学生 ■ 成績の基準は GPA3.0 以上。年収基準は、給与所得者は 600 万円以下、給与所得者以外は 340 万以下	4 月	3	3	1
フジシール パッケージング教育 振興財団	修士課程 1 年生 学部 1 年生	院：60,000 円 / 月 学部：50,000 円 / 月	■ 応用化学（プラスチック製品）、機械工学、電気電子工学、高分子工学等の工学系およびデザイン関係の学部または専攻の者 ■ パッケージに興味・関心があり、チャレンジ精神旺盛で国際感覚をもつもの	4 月	1	1	0
鷹野学術振興財団	修士課程 1 年生 学部 1 年生～3 年生	600,000 円 / 年	■ 科学技術関係（電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、化学関連、医工関連、健康・福祉関連、環境・エネルギー関連、農学・機能性食品等）を専攻されている学生のうち、製造業に就職を希望する者	4 月	5	5	0
中部奨学会	博士課程	50,000 円 / 月	■ 人物、学業ともに優れ、かつ健康であり、経済的理由により就学が困難な人で、学長の推薦による者	4 月	0	0	0
吉田育英会・ マスター 21	学部 4 年生 (修士課程進学内定者)	80,000 円 / 月 上記に加え、250 万円以内の実費（学校納付金）、50 万円以内の実費（海外研究費）	■ 大学院修士課程への進学が決まっており、学業成績が優秀な者 ■ 国際的に活躍することを目指す者	前年度 2 月	2	1	0

Ⅳ 奨学金申請に必要な書類

ここでは、奨学金申請時に提出が求められる基本的な書類について説明します。
ただし、奨学金ごとに必要な書類は変わりますので、必ず各奨学金の募集要項で確認をしてください。

■申請にあたっての注意事項

- 書類の作成は黒ボールペンで記入してください。消せるボールペンは使用できません。
- 修正テープ、修正液は使用しないでください。間違えた場合は、修正箇所にも二重線を引き、訂正印を押し、余白に書き直してください。
- 記入漏れ、記入ミス、申請書類の不備等があった場合、選考から外れることがあります。
- 【証明書について】複数の奨学金に申請し、原本での提出が求められている場合、その都度原本の提出が必要となります。

■民間の奨学団体の奨学金採用後の注意事項

民間奨学金には「奨学金義務」（奨学金授与式・懇親会・面談への出席、報告書・成績証明書の提出など）があります。財団からこれらの要請があった場合は、東京電機大学の代表としての自覚を持ち、必ず出席または提出してください。

■提出資料

①申請書

奨学金には各財団・団体が定めた「申請書」があります。記入漏れや記入ミスに注意し、作成してください。

②成績関係書類

- 学部1年生 ▶▶▶ 出身高校の「調査書」または「成績証明書」
出身高校にて発行を依頼してください。
発行日数や証明書の料金については、各自出身高校に確認ください。
- 大学院（修士・博士）1年生 学部2年生以上 ▶▶▶ 「成績・単位修得証明書」
各キャンパスにある証明書発行機で「申請書」を発行し、各学部事務部（教務担当）窓口で申請してください。

③収入に関する証明書類

収入の種類により提出する証明書類が変わります。以下は奨学金申請に必要な基本的な証明書類です。
以下に該当しない場合は、各キャンパスの奨学金窓口で相談してください。

- I. 給与所得者（パート・アルバイトを含む）⇒『源泉徴収票』
- II. 上記以外の事業収入者（自営業者・農業所得者など）⇒『確定申告書（第一表・第二表）』
- III. 無収入（無職・専業主婦含む）⇒『非課税証明書』

I. 『源泉徴収票』（コピー可）【発行元】勤務先

- 平成28年1月～12月分の給与額が記載されているもの。紛失した場合は、勤務先で再発行を依頼してください。
- 途中で退職した場合は、新しい職場での直近3カ月分の給与明細（コピー）を提出してください。

II. 『確定申告書（第一表・第二表）』（コピー可）【発行元】本人保管

- 「平成28年度分所得税の確定申告書（控）」の第一表および第二表のコピーを提出してください。
- 税務署の受領印、税理士作成印のいずれかがあるものを提出してください。電子申告（e-tax）で行った場合は、「申告内容確認票」と「受信結果」（受信通知：「メール詳細通知」画面）または「即時通知」画面を添付してください。

III. 非課税証明書または所得証明書（原本）【発行元】市区町村役所

- 2017年1月1日現在、世帯住所地のある市区町村市役所で発行しています。
- 非課税証明書・所得証明書の名称は市区町村により異なります。（例：「特別区税・都民税課税（非課税）証明書」「市・県民税所得証明書」など）
- 申請時点で「最新」の所得証明書を提出してください。例年6月頃に新年度（平成29年度版）のものが発行されます。平成28年度版が最新の場合は、これをもって代えます。

④ 推薦書

推薦書の提出が必要な場合、基本的にアドバイザー教員または、指導教員に作成をお願いしてください。また、推薦書の作成がスムーズに行えるよう、必ず事前に奨学金推薦に伴う推薦書作成調書（大学の奨学金紹介ページから DL 可能）を記入し、①奨学金の募集要項 ②必要事項を記入した申請書を持参の上、面談を依頼してください。

● 推薦書の作成を依頼する教員

学部 1 年生～3 年生 ▶ アドバイザー教員
学部 4 年生・大学院生 ▶ 指導教員

● アドバイザー教員への推薦書作成依頼手順

①【アドバイザー教員を調べる】

UNIPA の TOP 画面 ▶ 個人別情報 ▶ 学籍情報照会

②【アドバイザー教員のオフィスアワーを調べる】

画面上部メニューから「時間割」▶「教員時間割表」▶

教員を指定し、オフィスアワーを確認し、指定の時間と場所に行ってください。教員が不在の場合は、学科・学系事務室に相談ください。

初めて会うアドバイザーの先生は、あなたがどのような人なのか、どうして奨学金が必要なのか分かりません。先生にあなたの特長を知ってもらうためにも、必ず「推薦書作成調書」を記入し、作成を依頼してください。

奨学金出願に伴う推薦書作成調書

奨学金出願に伴う推薦書作成調書			
奨学金出願に伴う推薦書作成調書			
学部 1 年生～3 年生はアドバイザーに、学部 4 年生及び大学院生は指導教員に、 推薦書作成の上 、作成を依頼する必要があります。記入までアドバイザーとの面談がないと、UNIPA の個人別情報からアドバイザーを照会することができず、推薦書作成調書に推薦書作成調書を作成する旨、 先に事務局にメールでご連絡ください。			
記入 氏名	学部	年 月 日	推薦書作成
氏名	学 年	学 年	学 年
所属	研究科	専攻	専攻
	学 年	専攻	専攻
1. 申請する奨学金の種類と金額を記入してください。			
2. 奨学金出願理由（奨学金の活用目的、家庭事情等）			
3. 奨学金返還に悩んでいないこと、返済計画が立てられていること（返済計画表を添付してください）			
4. 奨学金出願に必要としている科目、履修計画（履修計画表を添付してください）			
5. 今後の進路や就職意向について			
6. その他（得意科目、得意科目、得意科目）			

⑤ 小論文等

募集要項で指定がある場合は提出してください。作文の作成にあたっては、経済的な面だけでなく、学部 1 年生～3 年生であれば今後専門的に勉強してみたい研究やテーマ、学部 4 年生であれば卒業研究で取り組んでいる内容やその研究を元に就職してみたい企業、（大学院進学希望者であれば、大学院で更に深く追求していきたい旨）について、書くといでしょう。

その他

■ 国の教育ローン（参考）

国の機関である日本政策金融公庫が取り扱う融資制度で、市中銀行よりも低い金利で融資が受けられる場合があります（年利 1.81%：2016 年 11 月 10 日現在）。利用限度額は 350 万円で入学金、授業料のほか住居費用、教材費などの費用に使えます。詳細は以下に直接お問い合わせください。

日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター

ナビダイヤル 0570-008656（月曜日～金曜日 9:00～21:00、土曜日 9:00～17:00）

日本政策金融公庫「国の教育ローン」ホームページ

<http://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

■ 提携教育ローン（参考）

株式会社オリエントコーポレーションと本学の提携教育ローンです。大学に納入する学費に充当することができます。

■ 利用資格：本学学生の保護者（法定代理人）で安定した収入がある方

■ 保証人：不要

■ 実質年率：4.2%（固定）

ご利用を検討される場合は、詳細について以下に直接お問い合わせください。

株式会社オリエントコーポレーション 学費サポートデスク

0120-517-325（お問い合わせ時間 9:30～17:30）

本学の奨学金 URL：web.dendai.ac.jp/sp/campuslife/scholarship/